

タブレット端末を活用した学びについて

令和7年5月21日

府中第一小学校 校長 宮内 和夫
情報教育推進部

① 授業での活用

- ・eライブラリやデジタル教材などを利用することで、個人の習熟度や問題を解く速度に合わせた課題に取り組むことができるようになっています。
- ・カメラ機能やプレゼンテーションソフト、表計算ソフトを利用し、自身の長所や得意な方法を使った学習のまとめを行っています。

② 毎日の持ち帰りについて

- ・2年生以上の学年では、連絡帳の代わりとして classroom を活用し、宿題や翌日の授業の予定を児童へ連絡しています。
- ・chromebook の充電は、家庭にて行っていただくようお願いしています。
- ・他の文房具と同様に chromebook を活用できるように、毎日学校へ持ってきています。しかし、天候や一人一人の学習の進行状況、学習内容との兼ね合い、急な予定の変更などにより活用しない日もあります。

③ 持ち帰りを行うにあたっての配慮

- ・2～6年生までの各学年では、chromebook を毎日持ち帰ることを考慮し、宿題に必要なドリル・教科書等を除いて他の教科書・ノート類に関しては学校に置いて行くようにしています。
- ・1年生についても同様の配慮を行うように予定しています。
- ・学期始めなど他の荷物が多い際には、学年や学級の実態に応じて chromebook を持ってこない日を指定する場合があります。